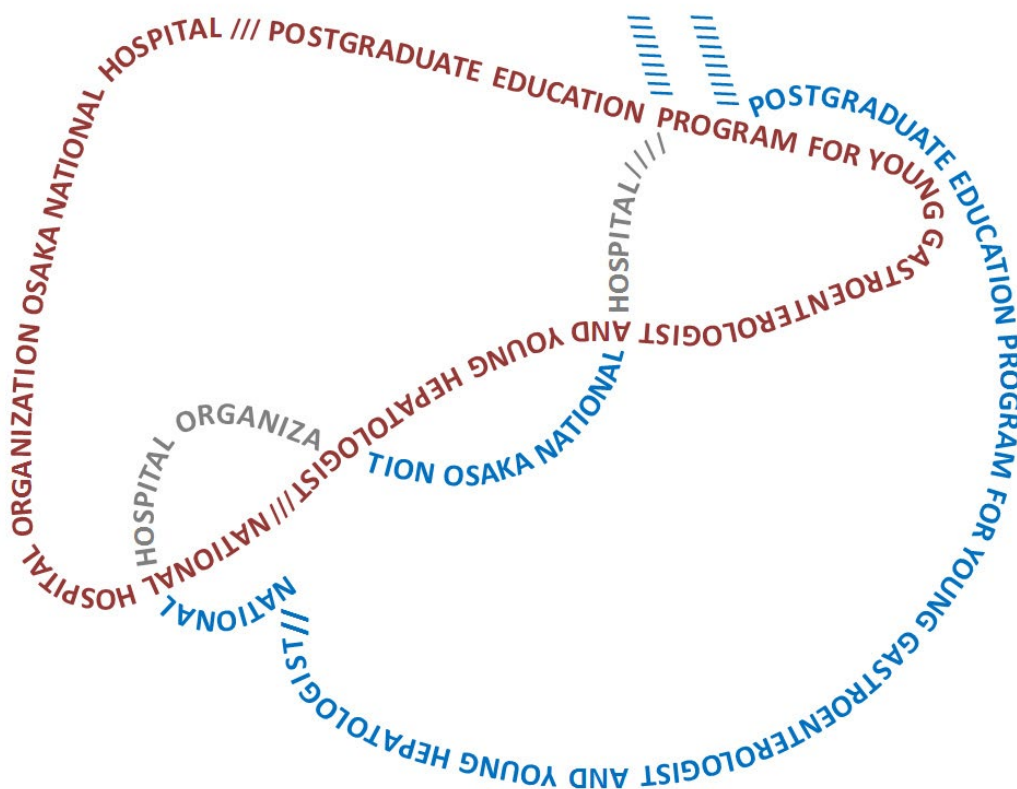


国立病院機構大阪医療センター
消化器内科専門研修カリキュラム



2022/09/26 Ver. 1.0

目次

1. 専門研修プログラム・カリキュラムの概要	1
2. 専門研修はどのようにおこなわれるのか？	1
3. 専攻医の到達目標	1
3-1. 修得すべき知識・技能・態度など	1
3-2. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	1
3-3. 学問的姿勢	1
3-4. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	1
4. 疾患群による研修プログラムと地域医療についての考え方	2
4-1. 年次毎の研修計画	2
4-2. 研修施設群と研修プログラム	2
4-3. 地域医療について	2
5. 専門研修の評価	2
6. 修了判定	2
7. 専門研修管理委員会	2
7-1. 専門研修プログラム・カリキュラム管理委員会の業務	2
7-2. サブスペ専攻医の就業環境	2
7-3. 専門研修プログラム・カリキュラムの改善	2
7-4. サブスペ専攻医の採用と修了	2
7-5. 研修の休止・中断、プログラム・カリキュラムの移動	3
7-6. 研修に対するサイトビジット（訪問調査）	3
8. 研修指導医	3
9. 応募資格	3
10. 募集人数	3
11. 応募方法、選考方法等	3
12. 募集期間	3
13. 問い合わせ先	3
14. 参考資料	4
14-1. 国立病院機構大阪医療センター 消化器内科専攻医週間スケジュール表	4
14-2. 消化器病専門医 研修カリキュラム評価表	4

1. 専門研修プログラム・カリキュラムの概要

消化器内科専門医は、内科などの専門医研修を修了した後に、消化器領域全般において、高い専門性をもった医療を提供する医師を養成する制度である。そのために、指導医の適切な指導の下、カリキュラムに定めた消化器領域全般にわたる医療の実践経験を通じて、全人的かつ消化器専門的な知識と技能を習得することをめざす。同時に、医師としてのプロフェッショナリズム、およびリサーチマインドの涵養に努める。

2. 専門研修はどのようにおこなわれるのか？

「消化器内科専門医研修カリキュラム評価表」に基づき必要症例を主担当医として経験し、資格を有する指導医が確認と承認を行う。

3. 専攻医の到達目標

3-1. 修得すべき知識・技能・態度など

主担当医として受け持つ経験症例は「消化器内科専門医カリキュラム評価表」に掲載された全 107 疾患のうち症例経験到達目標が 2 もしくは 3 となる疾患を中心として 58 疾患以上を、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患、腹腔・腹壁疾患のそれぞれに偏りのないよう経験し、150 症例以上（最低 120 症例）の症例数を確保する。

3-2. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得

日本消化器病学会が開催する教育講演会、専門医セミナー、ポストグラデュエイトコースに参加することにより救急対応、最新エビデンス等の理解、医療安全、医療倫理等につき学習する。

3-3. 学問的姿勢

患者から学ぶ姿勢を基本とし、科学的証拠に基づいた診断、治療の実践、最新の知識・技能へのアップデート（生涯学習）等の学問的姿勢を涵養する。

3-4. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性

専門医として高い倫理観、社会性を有することが必要であり、具体的に以下が求められる。

- ・コミュニケーション能力
- ・患者から学ぶ技術と態度
- ・プロフェッショナリズム
- ・リーダーシップ
- ・診療記録の的確性
- ・後輩指導
- ・医の倫理
- ・市民への啓発
- ・医療安全への配慮

4. 疾患群による研修プログラムと地域医療についての考え方

4-1. 年次毎の研修計画

「消化器内科専門医研修カリキュラム評価表」に基づき規定年数で研修を実施する。

4-2. 研修施設群と研修プログラム

国立病院機構大阪医療センター単独で、消化器内科専門医を取得するに十分な症例数を経験でき、また指導体制も整っていることから連携施設を設定しない。内科専門研修（一般的に卒後3年目～5年目）を修了し、異動によって他施設で消化器内科専門研修を継続する場合は「7-5」の「プログラム・カリキュラムの移動」によって対応する。異動先医療施設とは「消化器内科専門医研修カリキュラム評価表」を共有する。

4-3. 地域医療について

本領域は2次医療圏を含め、多くの認定施設を有するため、基本的には認定施設に於ける単独研修とするが過疎地での経験も有益であり、短期間、他の医療機関への研修も一定の基準の中で行うことがある。

5. 専門研修の評価

専攻医の研修は指導医により年1回以上形成的評価を受ける。また指導医は消化器内科専門医カリキュラム評価表等を用い研修目標達成度・医療に対する態度・姿勢等の評価を行う。

6. 修了判定

消化器内科専門医研修カリキュラム評価表及びJ-OSLER-Gを通じて修了判定を行う。

7. 専門研修管理委員会

7-1. 専門研修プログラム・カリキュラム管理委員会の業務

認定施設に於いて研修管理委員会を設置し委員長を研修統括責任者とする。

7-2. サブスペ専攻医の就業環境

労働基準法、医療法その他関連法令を遵守し専攻医の心身の健康維持に向けた環境整備や安全対策に十分配慮を行う。

7-3. 専門研修プログラム・カリキュラムの改善

研修管理委員会はJ-OSLER-G等を用い、専攻医の逆評価、専門医の研修状況を把握し把握した事項につき研修管理委員会が対応を検討する。

7-4. サブスペ専攻医の採用と修了

研修応募者は募集期間中に研修統括責任者宛て必要書類を提出し、研修管理委員会は書類

審査、面接等必要に応じた審査により採否を決定する。また修了は「消化器内科専門医研修カリキュラム」に定められた項目の履修をもって認定され、症例有効期間は専門医試験申請年から遡って10年間とする。

7-5. 研修の休止・中断、プログラム・カリキュラムの移動

- ・異動：異動前研修管理委員会と異動後の同委員会が相互に継続的研修を認証する。
- ・出産、疾病に伴う6ヶ月以内の休暇は1回まで研修期間に含める。
- ・留学期間は原則研修期間としない。

7-6. 研修に対するサイトビジット（訪問調査）

領域構成学会は日本専門医機構のサイトビジットに協力し、認定施設は日本消化器病学会専門医制度審議委員会の監査を受ける。

8. 研修指導医

医師名	所属	役職
三田英治	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	副院長、プログラム統括責任者
阪森亮太郎	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	科長
榊原祐子	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	副科長、内視鏡診療室長
山本俊祐	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	医員
長谷川裕子	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	医員
福武伸康	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	医員
田中聡司	国立病院機構大阪医療センター 消化器内科	医員

9. 応募資格

応募開始時に内科専門医有資格者、もしくは同資格認定に必要な所定の研修を開始している者

10. 募集人数

1学年に7名まで

11. 応募方法、選考方法等

消化器内科専門研修を希望する者は「13. 問い合わせ先」まで連絡すること。

選考方法は面接によって判定する。

12. 募集期間

通年

13. 問い合わせ先

国立病院機構大阪医療センター副院長 三田英治

mita.eiji.zf@mail.hosp.go.jp

1 4 . 参考資料

1 4 – 1 . 国立病院機構大阪医療センター 消化器内科専攻医週間スケジュール表

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜・日曜
8:30～	大腸カンファ	内視鏡カンファ	早期胃癌カンファ	内視鏡カンファ	大腸カンファ	積極的な 学会活動を 推奨する
9:00～ ^{#1}	内視鏡研修 エコー研修	内視鏡研修 エコー研修	内視鏡研修 エコー研修	内視鏡研修 エコー研修	内視鏡研修 エコー研修	
13:00～	内視鏡処置	内視鏡処置	内視鏡処置	内視鏡処置	内視鏡処置	
夕刻	消化器内科 カンファ		Cancer Board ^{#2}		肝胆膵 カンファ	

#1. 週 1 回、消化器内科専門外来を担当する

#2. Cancer Board は毎月第 1 水曜日に開催

1 4 – 2 . 消化器病専門医 研修カリキュラム評価表

<https://www.jsge.or.jp/files/uploads/curriculum2019.pdf>

2022 年 9 月 26 日の時点で「消化器内科専門医研修カリキュラム評価表」ではなく、「消化器病専門医 研修カリキュラム評価表」として日本消化器病学会のホームページには掲載されている。